



本格的に スタート!

23 春闘



「物価」は上昇、「実質賃金」は減少

厚生労働省は、物価の影響を反映した「実質賃金」(2022年11月分)について、前年同期比2.5%減と発表しました。一方で物価上昇は前年同期比4.0%増と、約41年ぶりの高水準に。ガス代は昨年から約23%、電気代は約21%、その他に生鮮食品や加工食品の値上がり等、私たちの生活はより一層厳しさを増すばかりです。

JR 東日本、賃上げ「慎重」

深澤社長は1月5日、経済三団体の新年祝賀会に出席。マスコミから賃上げの考えを聞かれ、回答した11社の中で唯一「慎重」と回答。

他の10社は「賃上げする」又は「前向き」と回答する中、JR 東日本の消極的な姿勢が鮮明になりました。



経団連、賃金の引上げは

「企業の社会的責務」

経団連(企業の経営者の集まり)は1月17日、春闘に臨む経営側の指針となる「2023年版経労委報告」を公表しました。「物価動向」を特に重視し、賃上げのモメンタム(相場の強弱を示す指標)の維持・強化を呼びかけました。



春闘の三要素である組織力を強化しよう!

春闘の三要素は世間相場・会社の支払い能力・組織力です。

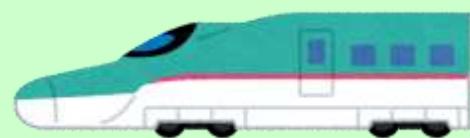
①世間相場

キャノンやファーストリテイリング(ユニクロ)、第一生命など、大手企業が相次いで賃上げすることを表明しています。



②会社の支払い能力

第3四半期決算の鉄道営業収入は対前年比122.2%
2018年度比81.7%と順調に推移しています。



③組織力

JR東日本に在籍する多くの人々は未加入者や社友会に所属しています。要求実現するためには、組合員の強化と組織力(数の力)が重要です。

組織強化・拡大を実現し、23春闘を勝利しよう!